



12月6日(土)、里幼稚園でもちつき大会が開催され、園児と保護者らが参加。慣れた手つきのおばあちゃんに教わりながら、もちをついたり、丸めたりと楽しみました。出来上がったもちの味は格別で、みんなでいただき、おなかいっぱいの様子でした。

里
ヨイショ!
ふっくらもちの出来上がり!



11月22日(土)、5地区コミュニティ協議会対抗の地域一周駅伝大会が開催されました。出場選手の中には、昨年九州一周駅伝に出場した増田裕一選手の姿も。13区間26.3kmのコースで熱戦を展開し、大村地区が、見事2連覇を達成しました。

祁答院
地元の声援を受けてつないだ
第49回地域一周駅伝大会



今回5年ぶりの披露となった鬼人舞
児童たちも体で覚えていた上方限太鼓舞



11月23日(日)に開催された高城西地区教育講演会で、同地区高校生クラブが、青少年育成国民会議から表彰されました。同クラブは、昭和60年に設立。駅の清掃活動や地域の夏祭りなどのイベントに出店するなど、地域づくり活動などに取り組んでいます。

川内
高城西地区高校生クラブ
青少年育成国民会議表彰受賞



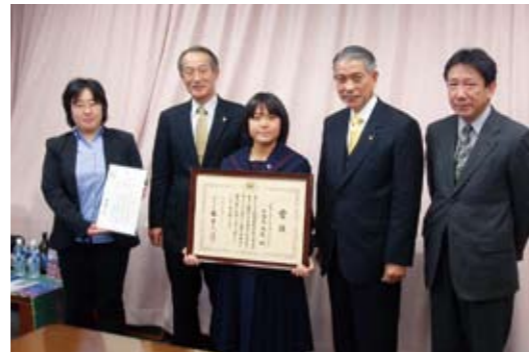
11月13日(木)、塔之原の八幡河川公園で、ウナギの体験放流があり、樋脇小学校の児童ら20人が参加。川内川漁協の協力の下、放流すると、ヌルヌルするなど児童らから歓声が上がりました。ウナギはこの後1年かけて海に向かいます。戻ってくる日が待ち遠しいですね。

樋脇
初めて触ったよ!
ウナギの体験放流



11月16日(日)、南瀬地区と鳥丸地区では、むらづくり振興大会が、山田地区では山田小学校130周年記念芸能祭がそれぞれありました。南瀬地区では上方限太鼓舞、鳥丸地区では鷹踊り、山田地区では鬼人舞などの郷土芸能が披露されました。地域の皆さんの郷土芸能を愛する心が、伝統芸能の伝承を支えています。

東郷
郷土芸能を愛する心が、
伝承を支えています



川内南中学校2年生の小田原珠実さんが「税についての作文」コンクールで、最高賞の内閣総理大臣賞を受賞。12月11日(木)、岩切市長にその報告をしました。税金で賄われている救急車。重症患者らへの思いやりで無駄な出勤や税金を減らせると主張しました。

川内
一人一人の思いやりの心が
税金の無駄使いをなくす



前編集長
ながはま みおこ
永瀨 滢子さん

毎回、締切を気にしながらも、やりがいを持って、真剣に話し合い、発行できました。先輩方の作品もとても参考になりました。



前生徒会長
はまだ さくらさん

一年中何を書こうか考えていました。連続受賞ができるか不安だったけれど、3年連続受賞できてとてもうれしいです。



編集長
やまぐち りな
山口 梨菜さん

編集長をできることに喜びを感じ、誰もが楽しく読んでくれるような新聞を作っていきたいです。



生徒会長
はまべ ゆうや
瀨邊 雄哉さん

連続受賞をプレッシャーに感じることなく、先輩方が築いてきた1席の受賞記録を延ばしていきたいです。



第56回学校新聞コンクール中学校の部で、上甞中学校の「海風」が3年連続14回目の1席に輝きました。鹿児島市で開催された受賞式には、生徒会長や編集長の4人が代表で出席。初の3年連続1席受賞の知らせに、住民も大喜び。学校へは祝福するたくさんの電話が寄せられました。

「海風」は1977年の創刊以来、745号を数え、先輩からの伝統を受け継ぎ、現在もなお、手書きにこだわり作成されています。関心のある社会の話題に着目したコーナー、そのほか身近な高齢者に「暮らしの知恵」や「習俗」の取材をしたりと、地域に密着した内容で世代間交流の役割も果たしています。人から人へ受け継がれている「海風」の今後のさらなる躍進が期待されます。

上甞
創刊以来、手書きにこだわり続けた学校新聞
初の3年連続1席受賞に住民も大喜び!